

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ディグ・スマイル・前橋南教室				公表日	2024年 9月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		仕切られた空間を、支援に合わせ活用しております。	現状に満足するのではなく、日々変化のお子様の様子に合わせた対応も行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員配置は日々、協力体制が出来るよう考え行っています。	事故やケガ無く過ごしていただけるよう、今後も適切な配置に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	仕切られた空間について、それぞれ何をする場所か、お子様が理解し過ごせるようボード等で提示している。	バリアフリー化に関しては、ご利用のお子様たちの状況を踏まえた対応を検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の支援準備の中で、清潔に保てるよう環境整備を行なっています。また、静かに過ごす場面・活動の場面とで使い分けを行なっています。	バリアフリー化に関しては、ご利用児童様の状況を踏まえた対応を検討してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		その日の支援に対応できるよう、部屋割りについて工夫をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日の朝会に参加することで、PDCAサイクルに参画しています。また、今年度は定期的に職員会議を開催することで、職員一人一人の意識も高めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様の思いに寄り添いながら、改善が必要な内容について職員で話し合う場を設け、改善に向けて取り組んでおります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝会や会議等での集団での話し合いの場に加え、個別で意見を伺う場を設け把握できるよう努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		現状第三者による外部評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		職位に応じた研修を実施しています。また、外部研修にも希望者は参加して、能力向上に努めて頂く機会を確保しています。	スキルアップに向けた意識を、職員一人ひとりが持ち、積極的に研修への参加意欲を示していける環境を整えていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		毎月の発行しているカレンダーに記載されているプログラムに加え、教室独自のプログラムも日々検討し行っています。	必要なプログラムが偏りなく行えるよう工夫をし、今後も支援に取り入れていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児発管を中心に、職員全員でアセスメントに携わり作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員一人一人が支援計画を理解した上で、児童様にとって今必要な支援を行っています。	

適切な支援の提供

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画に沿った支援が行えるよう、その日の準備段階で話し合いを行い、支援を行っています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の行動観察について、職員間での共有は行い確認しているが、フォーマットとして確立されていない。また、病院等で実施された検査結果を活用することがあります。	今後標準化されたフォーマットを使用し、確認を行っています。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿った必要な支援が行えるよう、児童様の状況も踏まえながら、日々設定を行っています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		朝会や会議等で話し合い・意見交換を行い、立案を行っています。今後も継続してまいります。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		お子様一人ひとりの課題や成長に応じたプログラムを常に検討しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		仕切られた空間を有効に活用し、個別・集団での活動を組み合わせながら支援を行っています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝会での話し合いの中で、内容・役割分担等を決定し準備を行っています。そのうえでその都度連携を図りながら支援を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終了後に打ち合わせを行い、始業前に朝会を実施することで、情報の共有を行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の支援について個々の記録を取り、支援計画等にも反映を行っています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		お子様の様子を日々共有する中で、必要な支援について見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		個々に沿った支援に加え、創作活動・地域交流の機会を設けるなど、イベントを通じて提供を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		決められたルールの中で、自身のしたいこと・してみたいことを発信し、実行できる為の支援を行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管を中心に参画しております。加えて、お子様の近況について話を事前に行い共有しうたえで参画しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて、医療機関や学校と連絡を取り情報を共有することで、支援に反映する取り組みを行っています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎の際に学校・保護者様と情報の共有を行っています。また、連絡調整についても職員一人ひとりが、行える取り組みを行っています。	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	相談員様・保護者様からの事前共有を元に相互理解を行っています。	相談員様からの情報共有、保護者様からの共有のみになっている為、今後必要に応じて、関係各所への連絡も行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		移行するお子様の対応経験がないといったこともあり、連携に関して今後対応できるようスキルを身に付けてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		前例がなく、連携が行えていません。今後必要に応じた対応がとれるよう、連携先の情報を収集していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	地域の児童館へ出かける活動は、積極的に行っています。	イベント等を通じて、他の放デイや他教室との交流の場を増やす取り組みも行っています。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		現状、積極的な参加が出来ていません。今後情報を得るため、協力関係を構築するためにも、参加の機会を検討してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際にお子様の状況について伝えることで、共通理解に努めております。また、必要に応じて、連絡ノートの活用も行っています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	家庭内での困りごとに対しての相談・助言や情報提供は適宜行っています。	家族の対応力向上を図る取り組みが出来ていない為、今後こちらから発信する取り組みも検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行い、その後変更等あればその都度対応を行っています。また、随時質問等にも対応を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		アセスメントを行う際、丁寧に聞き取ることで保護者様・児童様の意向に沿えるよう取り組んでいます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画を提示する際、丁寧な説明を行います。加えて、保護者様ご自身で読んでいただき計画内容について納得をいただけるよう、一度お預けしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		困りごとの相談への助言や情報提供は適宜行っている。また、要望に対応し面談も行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	イベントで行っている納涼祭へのお誘いを行いました。	保護者様同士のつながりを設ける場の提供が出来ていません。また、親子イベント等の開催を行うことで、保護者様同士の交流も図れる取り組みを検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		窓口を開設していることに加え、送迎の際に伺った内容に対して、迅速に対応しています。情報を職員間で共有し解決方法を話し合うとともに、相談員様等関係機関への連絡も行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		2か月に1回ほどHPのブログを上げることで、支援の様子を知っていただいています。	回数や頻度・担当者も決め、より良いブログとなるよう、検討してまいります。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報がわかる書類等は、鍵付きの戸棚で管理を行っています。職員一同厳重に対応しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		わかりやすい言葉でお伝えする、書面での伝達など、情報伝達のツールを工夫し対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		現状、自教室の取り組みとして地域の方との交流が出来ていません。今後、自治会の行事に参加するなど交流の場を作れるよう検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	契約時に説明を行っています。また、教室入り口にも設置をしています。また、随時質問等にも対応を行っています。	質問や再度の確認の要望があった際は対応を行っていき、周知をしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		計画書を作成し、災害に備えた訓練・備蓄品等の確認も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に共有をいただき、変更等あった際はその都度教えていただけるようお声掛けを行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	保護者様との情報共有はしており、イベントごとに使用する材料等もお知らせ・確認をいただいています。	医師の指示書提示は受けていない為対応していませんが、要望や必要があった場合は、対応を行っていくことも検討いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		お子様・保護者様が安心して過ごせるよう計画を作成し、日々の点検も行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に説明を行っています。その後、不明点等あれば、随時対応しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		自教室での出来事について、話し合いを行い、今後の対応について検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な研修を行い、職員一人ひとりの意識を高める取り組みを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		やむを得ず行うことへの理解をして頂けるよう十分な説明を行っています。	